



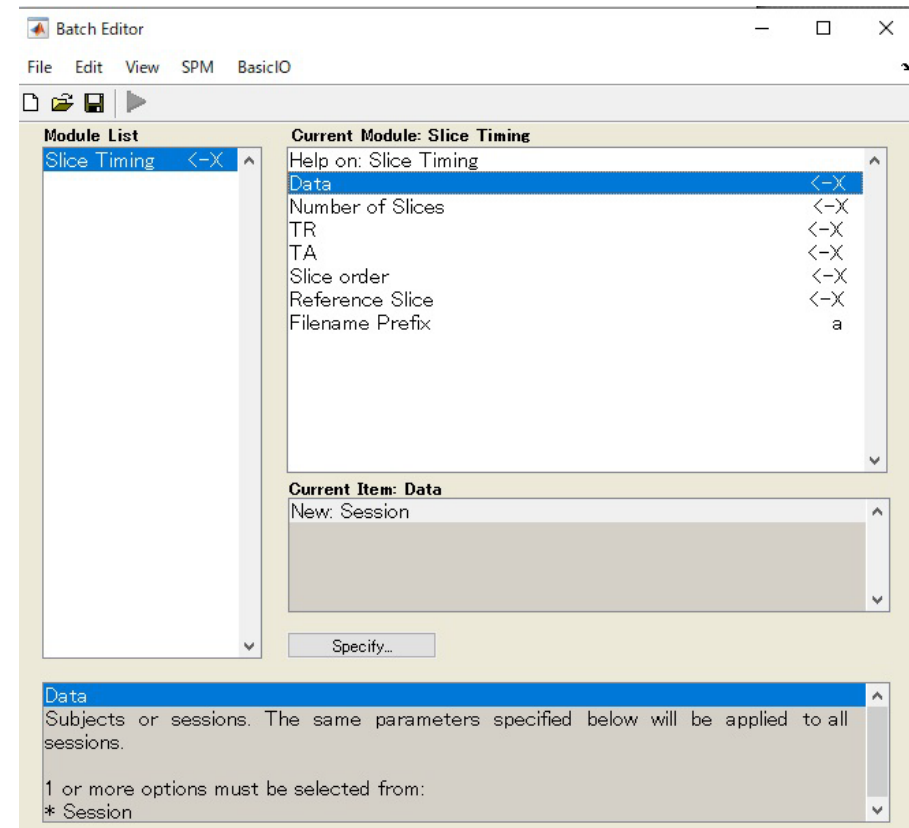
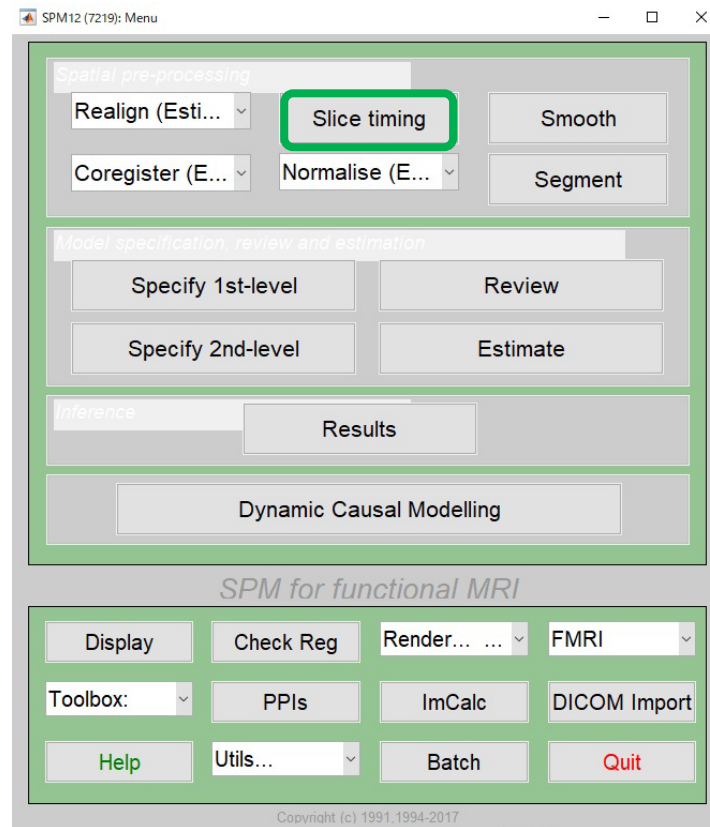
# Slice timing correction

機能画像はTime repetition (TR: 繰り返し時間) 分の時間をかけて全脳を撮像している

→ 各スライスで撮像するタイミングがずれている

同時に撮像したかのように信号を補正する

Slice timingを押して出てくるBatch Editorの各項目に値を入力

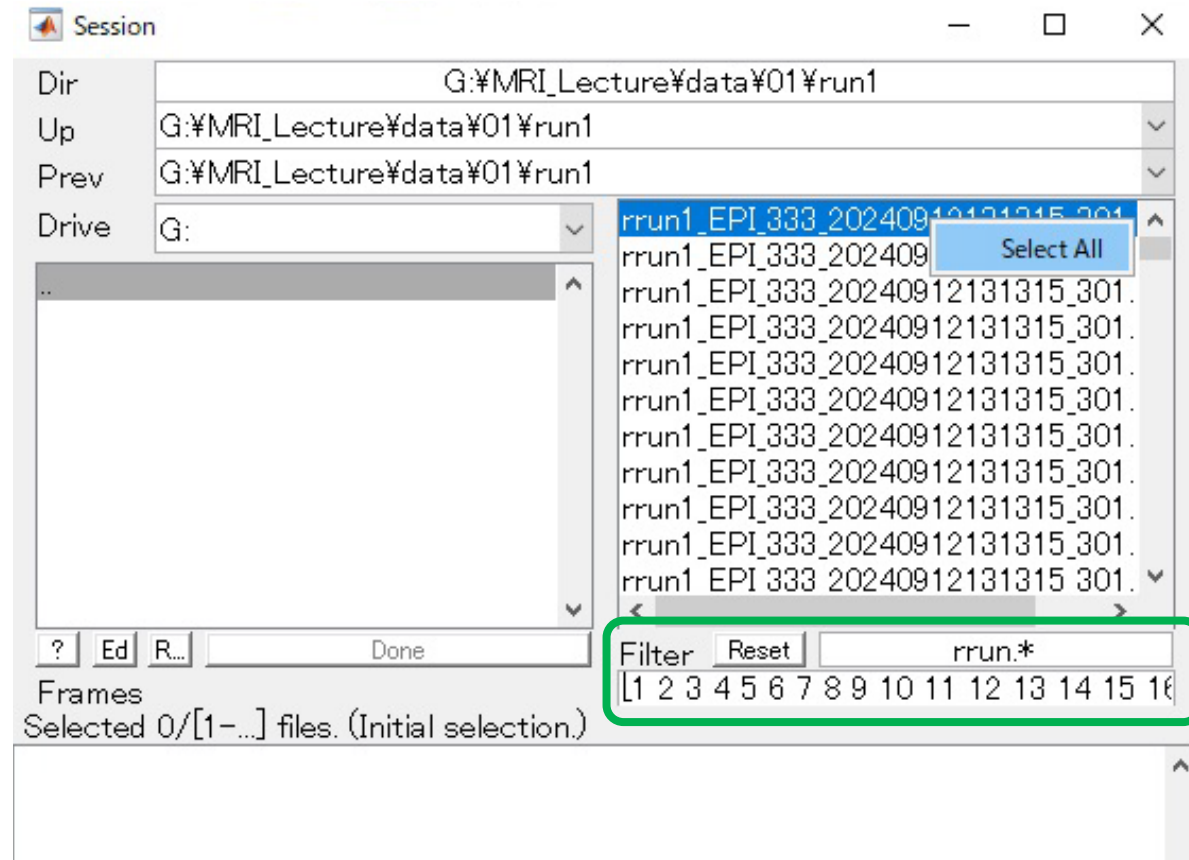
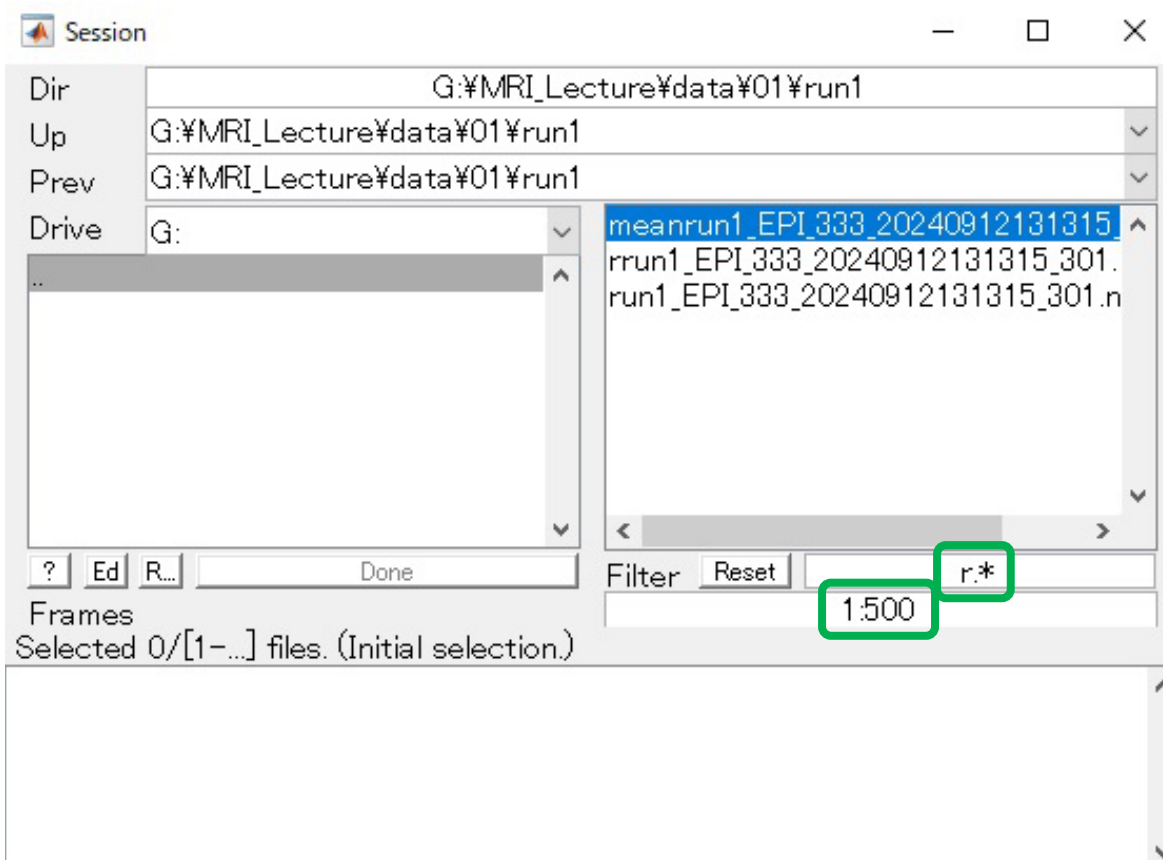


# Slice timing correction

3

SessionはRealignmentの時と同様に2つ設定する

filterで\*の前にrを指定してRealign済みファイルを全選択×2セッション分



## そのほか入力項目

Number of Slice ... 40

TR ... 2.5

TA ... “ $2.5 - (2.5 / 40)$ ”

【 $TR - (TR / \text{スライス枚数})$ 】として定義されるため

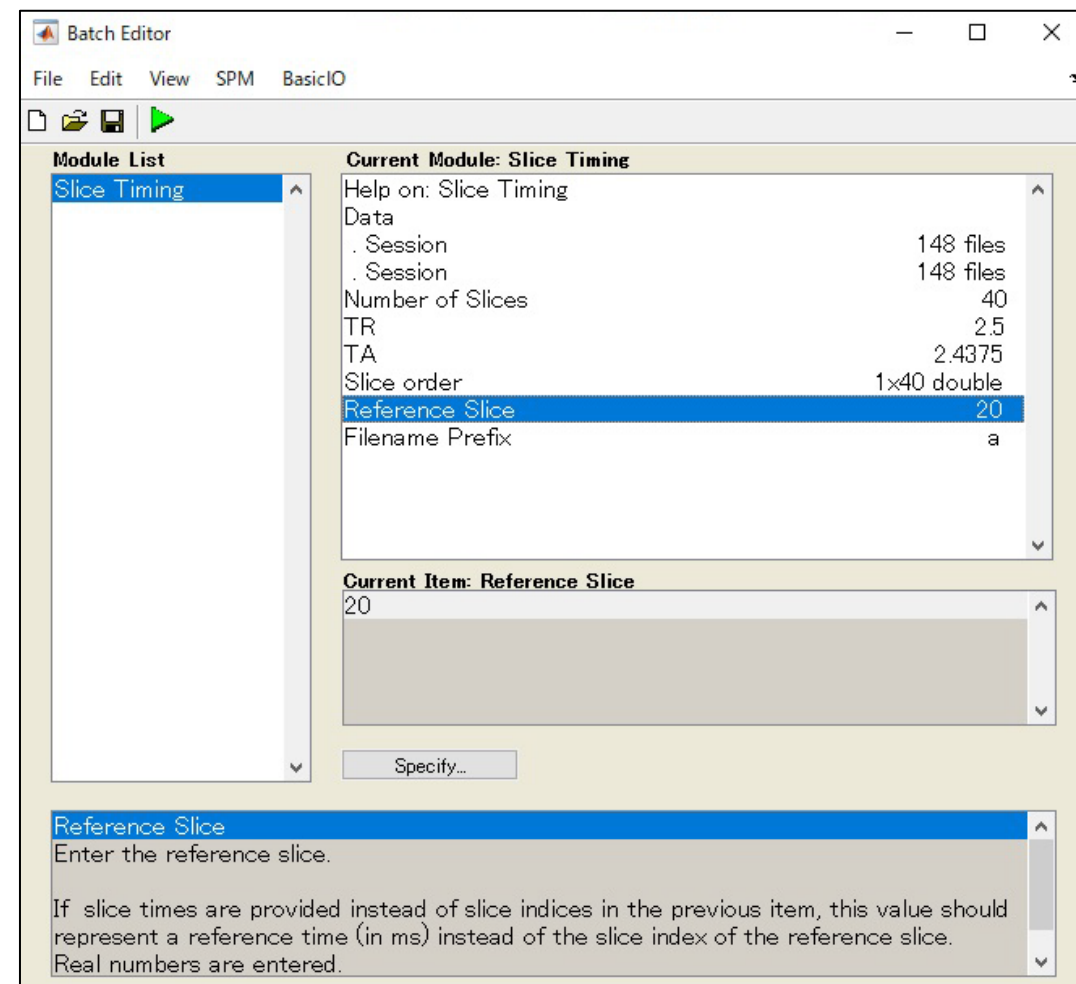
Slice order (ascending) ... [1:1:40 (スライス枚数)]

Reference slice ... 20 (40 / 2)

1を入力する、最後のスライス (=スライス枚数の数字) を入力する、など諸説あります

入力完了後は実行(緑の三角)ボタンを押す。

スライスタイミング補正後の.niiには、  
ファイル名の先頭に[a](#)がつく



問い合わせ

**CogNAC事務局**  
**cognac-office@grp.tohoku.ac.jp**

作成・編集

応用認知神経科学センター・助教 田邊 亜澄  
応用認知神経科学センター・学術研究員 大方 翔貴  
応用認知神経科学センター・助教 DING Yi

